学校番号	112

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	精選「論理国語」　（数研出版）						
副教材等	「大学入試頻出漢字 2500」（いいずな出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「論理国語」では、近代以降の様々なテーマにまつわる論述的文章を「読み解く力」を向上させ、本文を読み込むことで内容を「整理する力」や論理の展開などを自ら捉え、「表現する力」を身に付けてください。
・授業では、話し合い・文章記述・発表などの場もあるので積極的に学ぶ姿勢で参加してください。
・学習する内容は繰り返し本文を読んでおきましょう。授業の後にも内容を振り返りノートの整理をしながら復習しましょう。
・他の人の意見や考えなども参考にしながら自らの表現力の向上にもつなげていきましょう
・課題・提出物に計画的に取り組み、期限以内に提出しましょう。
・定期考査は学習計画を立てて復習し、質問があれば積極的に来ましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
・論理的に考える力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等】
・表現力を高めるために言葉がもつ価値への認識を深め、多くの場面で他者や社会に積極的に関わる態度を育む。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・言葉の意味やきまりなどについて理解を深め、知識を身につけている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・文章の種類に応じて、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	・文章を的確に読み取り、目的に応じ幅広く読むことで、自分の考えを深め、発展させている。 ・相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを整理し、まとめている。	・自らの言葉で伝え合う力を互いに高め、言語文化に対する関心を向上させ、より具体的に分かりやすく表現する力の向上を図る。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	学ぶということ ［教材］学問の発見	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・ノート	・観察 ・ワークシート ・ノート
	具体と抽象 ［教材］「手の変幻」、「『具体』から『抽象』へ」	a：使うべき言葉の意味を考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b[読]：文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、多面的・多角的な視点から考察している。 c：学習課題に沿って、表現の仕方を考え、自己の意見を主張している。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・ノート	・観察 ・ワークシート ・ノート
	普遍的な言葉 ［教材］「国境を越える言葉」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨いている。 b[読]：文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 b[書]：情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 c：進んで演繹的な推論について理解し，学習課題に沿って広い意味での「論理」における言葉の関連性や文章構造について捉えようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・ノート	・観察 ・ワークシート ・ノート

二学期	近代と現代の視点 ［教材］「未来世代への責任」、「＜近代＞の入口と出口の間」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨いている。 b[読]：文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。 b[書]：・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 c：学習課題に沿って、グラフと本文の内容を関連づけながら、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。また、資料から読み取ったことと自分の考えを区別しつつ、積極的に意見を書こうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・ノート	・観察 ・ワークシート ・ノート
	思索の深化 「顔の所有」、「無常ということ	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨いている。 b[読]：・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b[書]：情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 c：学習課題に沿って、筆者の主張をとらえようとしている。読み取った内容を、例示などを整理した上で、筆者の主張に対する自分の意見を書こうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・ノート	・観察 ・ワークシート ・ノート
	情報と社会 ［教材］「弱いつながり」、「消費されるスポーツ」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨いている。 b[読]：文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 b[書]：情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 c：学習課題に沿って、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。また、自分のこととして考えようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・ノート	・観察 ・ワークシート ・ノート
三学期	思索の枠組み	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増や	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシー	・観察 ・ワークシー

	［教材］「偶然とは何か」、「『である』ことと『する』こと」	し、文章の中で使うことを通して、語彙を豊かにしている。 b[読]人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。 c.学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。	・ワークシート	ト ・ノート	ト ・ノート
	考えの表出 ［教材］「胆力について」、「日本語は非論理的か」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語彙を豊かにしている。 b[読]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・ノート	・観察 ・ワークシート ・ノート
	考えの表出 ［教材］「人はなぜ働かなくてはならないのか」	a：使うべき言葉の意味を考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b[読]：文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、多面的・多角的な視点から考察している。 c：学習課題に沿って、表現の仕方を考え、自己の意見を主張している。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・ノート	・観察 ・ワークシート ・ノート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　４５　）時間